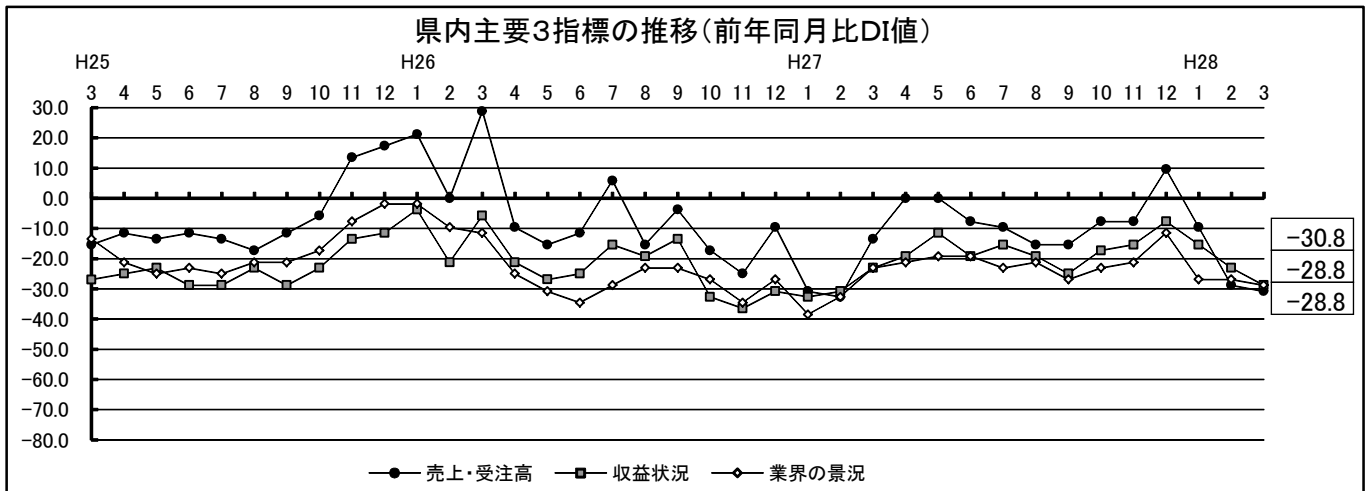


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年3月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 3月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界景況」の7指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より2.0ポイント低下の-30.8ポイント、「収益状況」が5.7ポイント低下の-28.8ポイント、「業界の景況」が1.9ポイント低下の-28.8ポイントであった。
- 「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」が5ポイントを超えて大きく低下した。「在庫数量」「設備操業度」は2ヶ月連続で低下し、「売上高」「販売価格」「収益状況」は3ヶ月連続で低下した。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-30.8	-2.0	-19.5	1.0
収益状況	-28.8	-5.7	-24.0	-1.1
業界の景況	-28.8	-1.9	-29.0	-1.2

売上・受注高

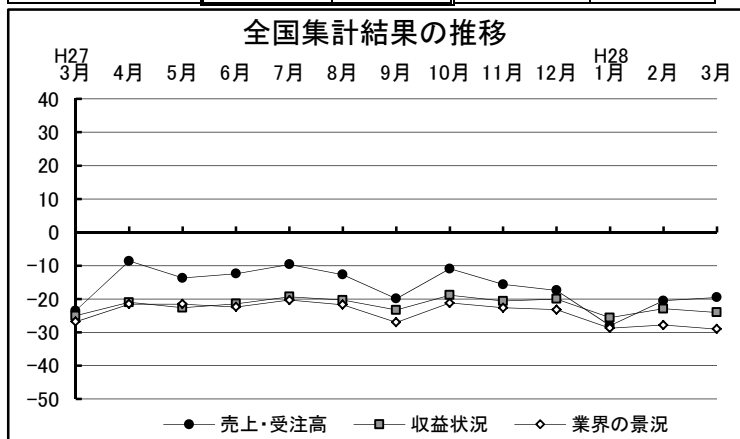
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より2.0ポイント低下の-30.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.0ポイント上昇の-19.5ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.7ポイント低下の-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.1ポイント低下の-24.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント低下の-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.2ポイント低下の-29.0ポイントとなった。



概況

3月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上」「在庫」「価格」「収益」「資金」「操業」「景況」の7指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より2.0ポイント低下の-30.8ポイント、「収益」が5.7ポイント低下の-28.8ポイント、「景況」が1.9ポイント低下の-28.8ポイントであった。指標を個別に見ると、「在庫」「収益」「資金」「操業」が5ポイントを超えて大きく低下した。「在庫」「操業」は2ヶ月連続で低下し、「売上」「価格」「収益」は3ヶ月連続で低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が上昇、4業種が低下し、非製造業で4業種が低下した。「景況」は製造業で4業種が低下し、非製造業で4業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比D I値と比べて9指標中3指標が上昇、5指標が低下した。個人消費の低迷や年始来の景気減速が年度末の繁忙期にも悪影響を与え、実需好転は製造業の一部に留まっている。また、労働市場における需給バランスの不調も継続しており、人件費の上昇が企業の固定費を圧迫する一方、非正規・短期雇用の拡大は労働者に不安を与え、来年4月に予定される消費税率10%実施も相まって、生産・消費の減退懸念が強まっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	○	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	×	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	×	△	—	△	×

○ 増加・上昇・好転 (DI値 +40ポイント以上) △ 不変 × 減少・低下・悪化 (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	50.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
窯業・土石	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
小計	-28.0	-8.0	-8.0	-4.0	-28.0	-8.0	-24.0	-4.0	-24.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-71.4	-14.3	14.3	-28.6	-71.4	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	-50.0		0.0	-16.7	0.0	-33.3		-16.7	-50.0
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
小計	-33.3	0.0	3.7	-11.1	-29.6	-14.8		0.0	-33.3
合計	-30.8	-5.7	-1.9	-7.7	-28.8	-11.5	-24.0	-1.9	-28.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	H27										H28		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	-13.5	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8
在庫数量	0.0	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7
販売価格	5.8	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9
取引条件	-3.8	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7
収益状況	-23.1	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8
資金繰り	-5.8	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5
設備操業度	-16.0	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0
雇用人員	-17.3	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9
業界の景況	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8

図表4～【前月DI値差】

前月	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	25.0	25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	50.0	50.0	-25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	-25.0
窯業・土石	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
小計	-16.0	0.0	-4.0	-4.0	-16.0	0.0	-16.0	-4.0	-24.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-85.7	-14.3	14.3	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	-66.7		0.0	-16.7	-33.3	-16.7		-33.3	-33.3
建設業	20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-50.0		25.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
小計	-40.7	0.0	7.4	-11.1	-29.6	-11.1		-7.4	-29.6
合計	-28.8	0.0	1.9	-7.7	-23.1	-5.8	-16.0	-5.8	-26.9

特記事項

情報連絡員報告（平成28年3月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	ほとんどの酒蔵で今冬の酒造りが終了した。これからの半年、営業に力を入れていく。
染色整理業	景気動向の上向きの気配は感じられない。
一般製材業	例年3月は仕事が一段落するが、数字は前年比で横ばいだった。新年度のスタートに当たり上昇が望まれるが、まだまだ良い状況とは言えない。
木材・木製品製造業	同業他社が採算性の悪化から撤退を決めた。そのおかげで組合員の仕事は増えたが、素直に喜べない。中小企業に厳しい状況が続くと思われる。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。業界紙を読むと、倒産企業情報が必ずと言っていいほど掲載されている。
金属製品製造業	自動車関連部門（機械加工）では、国内の新車販売が低迷しているが、海外（特に米国）の売上げが順調であり、見通しは明るい。 機械設備部門では、中国経済の激変により、受注が大幅に減少。今後の見込みも不透明な状況である。 プレス金属部門では、トヨタ、スズキ、富士重工の受注が好調であるが、小規模の企業は厳しい状況（受注・収益とも）が続いている。
金属製品製造業	新年度（4月）に入り、白物家電が増加傾向の見込み。
一般機械器具製造業	本年3月は前年同時期と比較し、売上高がやや減少傾向にありとの結果報告がされた。また、一般的に景気の不透明感が予想され、今後の見通しの悪化に懸念を抱いている組合員がいる。
一般機械器具製造業	受注状況として、今までの案件が確実に実を結び好転してきている。 生産面では、工程改善による効果が出ており、少しずつではあるが稼働率は良くなっているが、売上高としての効果はまだ出ていない。 業界の景況としては、大きな変化はないが継続した加工品があるので、確実に生産をしていくと見なして今後を期待する。 雇用については、従業員の平均年齢も高くなり、技術の伝承を考慮して、若い社員の雇用を検討しており、更には、新規設備導入も含めて対応中である。 収益状況、資金繰りについては、大きな好転までは厳しいが、徐々に変化が見られ対策中である。 新規案件としては、引き合いがあることから今後を期待している状況である。
各種商品卸売業	建設資材卸売業では、今年1月後半から動きが良くなってきて、3月時点でも好転が続いている。しかし、平成27年度全体を振り返ると、26年度と比べやや厳しい結果となりそう。 産業用運搬車両（フォークリフト）販売業では、メーカーがエコ対応のため、製品仕様を従来の化石燃料から電動式へと切り替えたため、価格が上昇し苦戦している。
食肉小売業	輸入牛・豚肉が高値。部分的に安価なものがスーパーのチラシに入る。輸入品が多い。 専門店では国産の銘柄品が売れてきた。3月後半から売れ行きが伸びているが、相場高値が続き、利益が少ない。
各種商品小売業	3月も小売全般にわたり大変厳しい月だった。地方におけるインバウンドの効果は大変少ない。テレビで観る爆買いは何なのだろうか。早く地方経済が向上することを祈るばかりである。
各種商品小売業	衣料関連など、全体的に悪い印象はなかったが、宝飾など高単価商品群が大幅な前年割れのため、トータルでは前年をクリアできなかった。 近隣商業施設にシネマコンプレックスがオープンした影響か、売上よりも客足の落ち込みが大きく、今後の対策を検討する必要がある。

花・植木小売業	<p>3月に入り、お彼岸の仕入れ商戦までは暖冬による前進開花傾向の影響により前年対比で1割程度の入荷減、単価は2～3割高で推移した。お彼岸商戦本番では、長く品薄状態が続いていたところに一斉に買いが入り、相場は3～4割高と大幅な単価高の市況となった。</p> <p>19日からの週末3連休の婚礼や卒業式需要でバラ、ガーベラ、スイートピーなど洋花も大幅な単価高となり、月を通して販売面ではよく売れたが仕入には大変苦慮した。</p>
理容業	<p>ここ3か月程、組合員数に変更がなく、減少に歯止めがかかっている。ただ、高齢の経営者が多く、後継者がいないという理由での廃業が深刻になっている。</p>
自動車整備業	<p>3月は年度末であり、当組合の決算月でもあったが、年々業況は厳しくなっている。27年度の新車販売台数も軽自動車の販売台数の落ち込みが大きく、今後の業務にも影響が出てくると考えられる。</p>
ビルメンテナンス業	<p>特に問題なく、前年並みに推移している。</p>
給食センター	<p>平成27年3月末で不採算部門の撤退があり、売上高は前年同月比で大幅な減少となった。</p> <p>食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、不採算部門の撤退・新調理法で製造した弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されつつある。</p>
旅館・ホテル	<p>昨年度3月時点での業況は好況に転じたかと思われたが、景気（経済）は8月の上海ショックからの低迷を引きずっており、そのせいか前年比で一部人気宿を除きほぼ全館で宿泊者数が減少した。今年度も厳しい年となりそうだ。</p>
一般土木建築工事業	<p>業界の景況は低迷しており、不安になっている。</p>
内装工事業	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは3%増、敷物用ラベルは32%減、壁装用ラベルは36%減であった。</p> <p>平成27年4月～平成28年3月累計では、カーテン用ラベルは23%増、敷物用ラベルは11%増、壁装用ラベルは5%減であった。</p> <p>ラベルの支給（売上）金額の前年同月比は20%減、平成27年4月～平成28年3月累計では8%増であった。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>例年年度末は駆け込み需要なども含め、荷物状況は増加傾向を示していたが、今年度末は前月とともに低調な荷動きとなった。</p> <p>主要因はドライバー不足と考えられるが、景況悪化も一因と思う。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>震災の影響で、輸送の減少が出ている。</p>
貨物軽自動車運送業	<p>3月は異動に伴う引っ越しの需要が増大した。しかし、ドライバー不足や高齢化の進展により、配車不能に陥り、機会損失となった。</p> <p>一般貨物は前年同月と比べ減少傾向にあり、景況感は悪化している。燃料価格の値下がりが見守りである。</p>
一般乗用旅客自動車運送業	<p>特定地域候補地の指定に宇都宮交通圏が同意し、今後供給削減方法を含む特定地域計画作成が進むことが期待される。</p>
大谷石採石業	<p>石堀、倉など大谷石の材料を多く使う積石関係は、4割ほどの大幅な減少が続いている。大谷石をスライス加工した、材料をあまり使わない貼石関係は微増を維持している。積石と貼石、いずれを扱っているかで業者の増減は2極化しており、採石を主体とする業者にとっては厳しい状況が続いている。大口の話が出始めているとの情報もあり、今後の景況に期待したい。</p>